

魚類防疫支援事業

兜森 良則、前田 穰、沢目 司、松田 忍

目 的

健全で安全な養殖魚や種苗の生産を図るため、魚病の診断、防疫・養殖衛生管理・飼育に関する指導、専門的な知識を持つ技術者の育成を行う。

材料と方法

1. 魚病診断

内水面養殖業者や海産魚類増養殖場等から検査依頼があった検体について、定法により魚病診断を行った。

2. 防疫・養殖衛生管理・飼育に関する指導

県内の増養殖場を対象に巡回し、防疫指導等を行った。

3. 技術者の育成

魚類防疫士を育成するため、公益社団法人日本水産資源保護協会が開催する研修を受講した。また、ヒラメの特定疾病について殺さないで検査する方法の知識と技術を習得するため、独立行政法人水産総合研究センター東北区水産研究所が主催する研修を受講した。

結 果

1. 魚病診断

2014年の診断件数は、内水面では8件で、5魚種から7種類の疾病が確認され（表1）、月別では2月、6月、9月、12月であった（表2）。また、海面では4件で、3魚種から3種類の疾病が確認され（表3）、6月、7月、10月であった（表4）。

表 1. 内水面魚種の魚病診断件数

(2014年1月～12月)

疾 病 名	魚 種 名					合 計
	アユ	コイ	イトウ	サケ	フナ	
細菌性鰓病			2			2
ビブリオ病	1					1
冷水病	1					1
イクチオボド症				1		1
ウオジラミ症		1				1
穴アキ病					1	1
冷水病+シユードモナス病	1					1
計	3	1	2	1	1	8

表 2. 内水面魚種の月別魚病診断件数

(2014年1月～12月)

魚 種 名	診 断 月												合 計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
アユ		1				1			1				3
コイ									1				1
イトウ						1			1				2
サケ		1											1
フナ												1	1

表 3. 海面魚種の魚病診断件数

(2014年1月～12月)

疾 病 名	魚 種 名			合 計
	マコガレイ	ヒラメ	ウスメバル	
細菌感染症	1			1
滑走細菌症			1	1
アクアレオ症		1		1
不明		1		1
計	1	2	1	4

表 4. 海面魚種の月別魚病診断件数

(2014年1月～12月)

魚 種 名	診 断 月												合 計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
マコガレイ						1							1
ヒラメ						1				1			2
ウスメバル							1						1
計	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	4

2. 防疫・養殖衛生管理・飼育に関する指導

県内 36ヶ所の増養殖場で、防疫・養殖衛生管理・飼育に関する状況を確認し、必要な指導を行った。

3. 技術者の育成

魚類防疫士の資格受験に必要な要件を取得するため、養殖衛生管理技術者養成研修（本科実習コース）を 1名が受講した。

また、ヒラメ等の疾病防除対策の現状と課題に関する情報収集を行うとともに、ウイルス検査を目的としたカンニュレーション方法の知識と技術を 1名が習得した。

考 察

引き続き魚類防疫に関する情報提供及び魚病の発生防止、被害軽減に努める必要がある。